
「成人水疱性類天疱瘡患者における性差の包括的解析：20年間の長期観察に基づく臨床像・治療反応・予後の多面的評価」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2005年1月1日から2024年7月30日の期間に、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科において水疱性類天疱瘡と診断され、入院加療を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

この研究では、水ぶくれを伴う皮膚の病気である「水疱性類天疱瘡（すいほうせいるいてんぱうそう）」の患者さんについて、性別（男性と女性）によって病気の出かたや治り方に違いがあるのかを調べることを目的としています。

この病気は、主に高齢の方に多くみられますが、これまでの研究では、男性と女性で発症する年齢や治療の効き方、副作用の起こりやすさなどに違いがある可能性が指摘されています。ただし、詳しく調べた研究はありません。

そこでこの研究では、当院で過去20年間に治療を受けられた水疱性類天疱瘡の患者さんの診療記録（治療内容、検査結果、経過など）を使って、性別による病気の特徴や治療の効果の違いを明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年10月2日開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究は、新たに患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることなく、これまでの外来診療での研究対象者の背景、血液学的検査値、症状および所見のカルテの記載を解析して行う研究です。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科において、研究

責任者である高村 さおりが管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

水疱性類天疱瘡と診断された患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 秋元 隆太（研究分担者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 福田 知雄（研究分担者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはございません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3637（土日祝日を除く 9 時～17 時）

○研究課題名：成人水疱性類天疱瘡患者における性差の包括的解析：20 年間の長期観察に基づく臨床像・治療反応・予後の多面的評価

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり